

日本語日本文学科

教育基本方針

世界の中での日本文化の価値と意義を知り、広い視点から自国の文化を見直すとともに、世界に向けて発信するために、日本語と日本文学について、多面的かつ深く学ぶことを目標とします。また、日本語の高度な理解力と運用能力・表現能力を身につけることで、実社会のさまざまな分野で活躍することをめざします。

卒業認定・学位授与の方針

甲南大学では、学生一人ひとりの天賦の特性を啓発し、人物教育率先の甲南学園建学の理念を実現することを目的としています。日本語日本文学科の教育基本方針のもと、卒業必要単位数130単位以上(基礎共通科目又は国際言語文化科目18単位 外国語科目8単位 保健体育科目2単位 専門教育科目102単位以上)を修得し、次の能力・資質を身につけた学生に学士(文学)の学位を授与します。

- (1) 教養ある社会人として責任感と倫理観を持ち、現代社会の発展に貢献する意志と能力を有するとともに、自らを律し、他者と協調・協働することができます。
- (2) 天賦の特性を自ら伸ばして活用する意志と能力を有しています。
- (3) 人文科学・自然科学・社会科学に関する基礎的教養、自己の能力・資質を社会生活で活用し得る基本的な技能及び自己の健康増進に関する技能を有しています。
- (4) 世界に発信し得る、日本語と日本文学に関する知識と常識を有しています。
- (5) 自らの考えを分かりやすく表現し、他者に伝える力を有しています。
- (6) 的確な問い合わせをたてて問題解決を図る意志と能力を有しています。

教育課程編成・実施の方針

文学部日本語日本文学科では、卒業認定・学位授与の方針に掲げる能力・資質などを修得させるために、基礎共通科目、国際言語文化科目、外国語科目、保健体育科目、キャリア創生共通科目、専門教育科目及びその他必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習若しくは実技のいずれか又はこれらを適切に組み合わせた授業を開講します。特に、文学部及び本学科では、①学生一人ひとりの顔が見える少人数クラス、②基礎・応用・発展の積み上げ方式による段階的学修、③研究リテラシー、問題解決能力、専門分野の知識の3本柱による系統的学修の考え方で教育課程を編成し、実施します。

また、卒業認定・学位授与の方針と各科目の関係性及び到達目標を示すカリキュラムマップ、カリキュラムの体系性・系統性を示すカリキュラムツリーを提示し、カリキュラムの構造をわかりやすく明示します。

カリキュラムは、各科目において学生が修得したGPA及び、到達目標に定める学生の知識・能力の修得状況を集計し、その集計値を検証することにより見直し・改善を行います。教育内容、教育方法、学修成果の評価については以下のように定めます。

1) 教育内容

- (1) 初年次における基礎演習を必修とし、基礎的な読解力と表現力を養成します。
- (2) 外国語によるコミュニケーション能力や異文化理解について学ぶ科目、心身両面の健康に対する配慮を学ぶ科目、情報を読み解く力について学ぶ科目を配置します。
- (3) 全学共通科目である、建学の理念と専攻分野以外の領域を含む幅広い基礎的な知識を学ぶ基礎共通科目、異文化理解について学ぶ国際言語文化科目を配置します。
- (4) 専攻分野に関する知識及び論理的思考力を習得するため、初年次段階から年次進行に合わせて段階的に高度化する専門科目を体系的に配置します。
- (5) キャリア教育により、日本語・日本文学に関する知識を社会で生かす力を養うとともに地域連携講座科目を通じて、地域との結びつきを形成する能力を養成します。
- (6) 在学中の学修成果を集大成する仕組みとそれを評価する取組みとして、卒業研究を配置します。

2) 教育方法

- (1) 1)に掲げた教育内容を身につけるために、講義、演習、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により授業を実施します。
- (2) 論理的思考力、伝えたい内容を適切に表現し伝達する能力、問題解決力を養成するとともに、他者と協調・協働し、自ら率先して社会に貢献し、社会人に求められる責任感と倫理観について学ぶために、学生一人ひとりの顔がわかる少人数で学生参加型の実習、演習などを重視したクラス編成を行います。
- (3) 授業の実施においては、考える力や洞察力を涵養するために、発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習、グループ・ディスカッション、ディベートなどを中心としたアクティブ・ラーニングを積極的に活用します。
- (4) 成績評価をGPAで表示するとともに、学位プログラムごとの到達目標と各科目の関係を明確にし、知識・能力の習得状況を学修ポートフォリオを通じて学生にフィードバックします。

3) 学修成果の評価

学生の学修成果についての評価方法を各科目のシラバスで示し、その方法に従って評価します。

到達目標		対応する卒業認定・学位授与の方針(学科)の番号
A	日本文学について分析するために必要な基礎的知識を獲得する。	(4)
B	日本語について分析するために必要な基礎的知識を獲得する。	(4)
C	自らの考えを分かりやすく表現し、他者に伝える力を身につける。	(5)
D	的確な問い合わせをたてて問題解決を図る能力を培う。	(2)(4)
E	さまざまな時代の文章を的確に理解するための基礎的な読解力を養う。	(4)
F	日本語を用いて論理を構成し文章で他者を説得できる能力を身につける。	(5)
G	日本語と日本文学に対する知識を応用し、社会で生かすことのできる力を養う。	(1)(3)
H	情報を的確に取捨選択し、有効に活用する能力を養う。	(6)
I	研究リテラシーを体得し、日本語と日本文学に関する高度な分析能力を身につける。	(5)
J	日本語を通じて社会とのつながりを保持し、地域の連携を深めることのできる能力を身につける。	(1)(4)

日本語日本文学科 専門教育科目表

[2018年度(平成30年度)の入学生に適用]

授業科目名	単位数	配当年次	到達目標									
			A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
必修科目	日本文学概論 I	2	1	○				○				○
	日本文学概論 II	2	1	○				○				○
	日本語学概論 I	2	1		○		○					○
	日本語学概論 II	2	1		○		○					○
	基礎演習 I	2	1	○	○	○	○				○	
	基礎演習 II	2	1	○	○	○	○				○	
	演習 I a	2	2	○	○	○	○					○
	演習 I b	2	2	○	○	○	○					○
	演習 II a	2	3			○	○		○			○
	演習 II b	2	3			○	○		○			○
	研究演習	2	4			○	○		○			○
	卒業研究	8	4			○	○		○			○
以上30単位必修												
基礎科目	日本語表現法 I	2	1			○			○			
	日本語表現法 II	2	1			○			○			
	日本文学史 I a	2	1	○			○	○				
	日本文学史 I b	2	1	○			○	○				
	日本文学史 II a	2	1	○				○				
	日本文学史 II b	2	1	○				○				
	漢文学 I a	2	1					○			○	
	漢文学 I b	2	1					○			○	
	漢文学 II a	2	2					○			○	
	漢文学 II b	2	2					○			○	
	日本語史 I	2	2		○						○	
	日本語史 II	2	2		○						○	
	日本語文法論 I	2	2		○						○	
	日本語文法論 II	2	2		○						○	
(A)以上のうち16単位以上選択必修												
日本文学コース科目	古典文学科目	上代文学講読 I	2	1	○				○			
		上代文学講読 II	2	1	○				○			
		中古文学講読 I	2	1	○				○			
		中古文学講読 II	2	1	○				○			
		中世文学講読 I	2	1	○				○			
		中世文学講読 II	2	1	○				○			
		近世文学講読 I	2	1	○				○			
		近世文学講読 II	2	1	○				○			

授業科目名	単位数	配当年次	到達目標									
			A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
関連科目	日本文化の諸相	2	2							○		○
	日本の芸能	2	2							○		○
	こどもの文学・文化	2	2	○						○		
	ことばの研究	2	2			○						○
	メディア・リテラシー	2	2							○	○	○
	日本語表現研究Ⅰ	2	2			○			○			
	日本語表現研究Ⅱ	2	2			○			○			
	国語科教材研究	2	3				○			○		
	国語教育研究	2	3				○			○		
	関西のことばと文学	2	2	○	○							○
	演習Ⅲa	2	4			○	○		○			○
	演習Ⅲb	2	4			○	○		○			○
	書道	2	2			○	○			○		
	英米文化探訪I	2	2							○	○	
	英米文化探訪II	2	2							○	○	
	英米文化研究I	2	3							○	○	
	英米文化研究II	2	3							○	○	
	民俗学の諸問題	4	2				○					○
	社会心理学	2	2									○
	社会意識論	2	2									○
	文化人類学	2	2				○					○
	多文化共生論	2	2							○		○
	日本文化史	2	2							○		○
	情報社会論	2	2				○				○	
	コミュニケーション研究	2	3							○		○
	メディア研究	2	3							○		○
	現代文化論	2	2				○					○
	地理学・民俗学資料研究Ⅰ	2	2				○					○
	地理学・民俗学資料研究Ⅱ	2	2				○					○
	古文書学Ⅰ	2	3					○				○
	古文書学Ⅱ	2	3					○				○
	IT応用	2	1			○			○		○	
	地域社会論	2	2				○					○
	NPO/NGO論	2	2				○					○
	メディア文化論	2	2						○			○
	阪神文化論Ⅰ	2	1							○		○
	阪神文化論Ⅱ	2	1							○		○

④以上のうち6単位以上選択必修

卒業必要単位数 102単位以上

授業科目名	単位数	配当年次	到達目標								
			A	B	C	D	E	F	G	H	I

【卒業必要単位数】

1. 文学部日本語日本文学科の学生は、次に定めるところに従って合計130単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目または国際言語文化科目	18単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	102単位以上
必修科目	30単位
選択必修科目	16単位以上
Ⓐより	8単位以上
Ⓑより	6単位以上
Ⓒより	8単位以上
Ⓓより	6単位以上
Ⓔより	40単位以上
ⒻよりⒷⒸⒹも含めて	
自由選択科目	
合 計	130単位以上

2. 次の科目については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修または選択必修の単位数に充てることはできない。

- ①文学部他学科の専門教育科目および共通・関連科目(ただしキャリア科目は2単位以内)
- ②中級・上級外国語(国際言語文化科目を選択した者が履修するコースの中の中級外国語を除く)については、16単位以内
- ③海外語学講座・留学支援科目(国際言語文化科目を選択した者が履修するコース中の留学支援科目を除く)については、8単位以内□
- ④生涯スポーツについては、2単位以内
- ⑤関係学部長の許可を得た他学部の専門教育科目およびキャリア創生共通科目(キャリアデザイン系科目は除く)については、あわせて16単位以内